

透視像

散歩の楽しみ 初芝 澄雄

新しい年を迎えましたが、世の中はなかなか順調とばかり言えないと思います。さて私事ですが今年は八十歳代となります。そこで家にいる事が多くなっている次第です。そこで体調を整えるために、散歩を多くと心掛けています。

はじめは同じコースを繰り返していましたが、最近自宅近くの駅を利用してその日によってある駅まで電車で行き、その近くを歩むか、或いはそこから一、二の駅まで歩き、そこから電車で自宅に帰る事にしました。歩いてみますと、神社や寺の門前、歩道の傍らには説明板が沢山ある事を知りました。例えば千駄ヶ谷駅の本ムには説明板があり、昔この近くで千駄の稲が取れる谷があり、それが千駄ヶ谷と言つ地名になったとあります。そこから信濃町方面に歩みますと、学徒出陣の碑とか、戦後古橋選手らが活

躍したプールがあります。このような場所を見ながら歩むと楽しくなります。また小田急線参宮橋駅で下りると、近くに春の小川と言つ通りがあります。此処は春の小川と言つ童謡のもとになつた川が流れていた所で、今は道路になつていてと言つ事が分かりました。

以上書いてきましたが、ただ歩くのみでなく、各地域の歴史や地理が分かつてとても楽しく歩ける事を実感しています。先日モJR原宿駅で下車しました。勿論明治神宮がありますが、代々木公園に行つてみました。代々木上原の方向に進んで行くと、幾つも銅像があり、昔此処が練兵場であつた時、日本で初めて飛行機を飛ばしたので、日本航空発祥の記念碑がある所だつたのです。この様にして天氣の良い日など私は日課の如くに、まちまちを歩き回つております。

さて勝手なことを書いてきましたが、今年も各部の方々が、一層の活躍発展をすることを期待して筆を置きたいと思ひます。

編集後記

新年を迎え皆さまからたくさんのお賀状をいただきました。旅行先でのスナップに元氣な姿、自作の絵画や書、写真に添えての私信、それぞれ趣向を凝らしたご挨拶に、暫し読み耽つていました。八十代半ばのY先生はびつしりと細かい字で恒例の年頭エッセイ、ご健在が分かります。超高齢のA先生は「目下、某所で静養中。来世への旅立ちも近づきつつあり……賀状は本年をもって最後」と。

またある方は「核廃絶への期待を持たせたオバマ大統領のノーベル賞受賞演説にガツカリ」と述べていましたし、T先生は家族が新型インフルに罹患し、窮されたと、昨年を回顧されました。

さて日本医家芸術クラブの新年はどうなるのでしょうか。邦楽部の4先生は早くも出演をエントリー。上記の「透視像」にあるように、各部の諸先生の活躍にかつております。宜しく。